

土岐川のいまむかし

多治見市の中央を流れる土岐川。静かな流れが市民の憩いの場となっています。しかし大雨が降ると、時にはんらんし人々を苦しめる川でもあったのです。土岐川の歴史をふりかえってみましょう。

1、名前あれこれ 土岐川？庄内川？

岐阜県では「土岐川」と呼ばれていますが、愛知県に入ると「庄内川」と名前を変えます。

また、昔は玉野川、勝川、枇杷島川、番場川、一色川など、その土地の名でも呼ばれていたようです。

多治見に残る古文書には、土岐川を「小里川」としている絵図も残っています。



昭和2年土岐川での投網 ▶

▼ 明治時代の多治見橋



2、川で分けられていた多治見

昔の多治見は土岐川をはさんで北は可児郡の村、南は土岐郡の村でした。

川でへだてられた人々は、橋や舟で行き来をしていました。土岐川の南北がひとつの町になったのは昭和に入ってからのことです。

▼ 江戸時代の土岐川絵図。絵図の下が北。大きく湾曲した部分が現在の県病院あたり。昭和7年の工事で川の流れがまっすぐになった。



出典:「多治見市史通史編(上)」 「多治見市史通史編(下)」

3、大きくて、広い土岐川

江戸時代の絵図には、土岐川は大きく、広く描かれています。時に水害により荒れ狂う土岐川を当時の人々は大きな川と感じていたのでしょう。

また、土岐川の水は農業用水、飲み水としても使用され、多治見の人々の暮らしを支えています。

郷土のことについて調べるなら 郷土資料室へ

地元に関する資料や市民の皆様から寄せられた文書や記録などを整理し保管しています。保管資料は利用者の方の調べ学習、研究などにもご利用頂けます。地域の歴史に関するレファレンス（ご相談）は、郷土資料室までお問合せ下さい。市民の皆様からの郷土資料のご寄贈や情報の提供も募集しております。

多治見市図書館郷土資料室

【場所】 多治見市豊岡町1-55 まなびパークたじみ4階 JR多治見駅より徒歩5分

【電話】 0572-23-3783

【開室時間】火～土曜日 10時～17時(日・月・祝日・年末年始は休室) ※図書館とは開室日・時間が異なりますのでご注意ください